

<第4議案>

2020年度収支予算（案）

16ページに2020年度収支予算案を示す。

<全体説明>

2020年度は、3月まで常勤スタッフ1人、4月以降は常勤スタッフ2人体制を維持し、4月以降のスタッフ1名は次世代基金で賄うことを前提にする予算とした。

1. 会費収入について

19年度決算（445万円）をやや上回る額の490万円を目標とする。19年度決算額に比して45万円の増額となる。

2. 事業収入・支出について

事業収入は19年度決算比約200万円の増額を見込む。

- 『核軍縮・平和2019』販売収入は110万円、経費80万円で、差引30万円の収益を見込む。
『ピース・アルманаック2020』の販売収入は120万円、経費150万円を見込む。
- 「情報サービス・調査受託」収入として、19年度決算とほぼ同じ160万円を見込む。

事業支出は、19年度決算比、約150万円の増額を見込む。

- 『アルманаック』経費は、デザイン委託費約70万円を含む。
- 協力研究員の経費は、66万円を見込む。
- 海外派遣経費は、4月の20年NPT再検討会議（ニューヨーク）への計40万円を見込む。
- 「事業委託費」は、米軍関連の調査謝金（年約20万円）に当てる。
- 「事務委託費」として会計業務に40万円を当てる。

3. 寄付金収入について

一般寄付金は夏季、冬季を含めて60万円を目標に設定する。海外派遣費用に充当するための海外派遣寄付金は30万円を見込む。

4. 助成金収入について

各種助成団体への申請、「よこはま夢ファンド」への助成金申請（財源は同ファンドへの市民からの寄付金）によって250万円を確保することを目指す。またアユス仏教国際協力ネットワークの「NGO組織強化支援事業」として150万円の支援金を受けることを申請している。さらに「よこはま夢ファンド」の2019年に申請した約197万円の助成を含め、計600万円を見込む。

5. 管理費について

- 2020年3月までは常勤スタッフ1人、4月以降は常勤スタッフ2人体制として、「給料・手当」、「法定福利費」、「福利厚生費」などの所要額を見込む。
- その他費用は19年度決算額を基準とし、所要の調整のうえ積算した。

6. 次世代基金について

- スタッフ1人を雇用、「米軍情報管理」臨時雇用費、及び「脱軍備・平和公開講座」費用を予算化した。

—以上